

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

環境医学研究所・戦略的研究基盤形成支援 事業「難治性“かゆみ”の発症機構解明と予 防・治療法開発の研究基盤構築」 国民との対話について

順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座

石川理恵 井関雅子 保利直介 玉川隆生

稲田英一 成田年

带状疱疹後搔痒の臨床・基礎研究 PHI :Post Herpetic Icthing

- ◇ 带状疱疹は、水ぼうそうを発生させるウイルスと同じ水痘・带状疱疹ウイルスによって起こる病気です。一度水ぼうそうにかかった人は、脊髄や脳の神経節にウイルスが潜伏し続けます。そして、高齢化や免疫力が低下したときに、ウイルスが神経節から増殖し、分布している皮膚に水疱を発症するとともに神経の痛みを伴います。带状疱疹に罹った人の10%に、带状疱疹後神経痛という神経障害による痛みが残ります。
- ◇ 一方で、带状疱疹罹患後に、痒みも付随することが知られています。この痒みは、带状疱疹後搔痒PHIと呼ばれています。痒みは痛みと同様に、人間にとって不快な感覚であり、情緒にもよい影響を及ぼしません。そのため、带状疱疹後搔痒PHIに対する治療が必要な場合もありますが、現在有用な薬剤も明らかではありません。その理由として、PHIの疫学調査が不十分、機序の解明も行われていないことにあります。
- ◇ そこで、PHIで困っておられる患者さんに少しでも貢献できるよう、PHIに対する疫学調査を十分に行い、痒み発生の機序を解明するためのトランスレーショナルリサーチ(基礎研究を臨床医学に活かすための共同研究)を行うことに致しました。



帯状疱疹後掻痒の臨床・基礎研究 PHI :Post Herpetic Icthing

- ◇ 研究1:帯状疱疹発症30日までの急性期、発症1～3ヶ月までの亜急性期、発症4ヶ月以降の慢性期の3群に分けて、当科を急性期に受診した患者127人を対象を追跡し、痒み発生時期や強さ、痛みとの関係について、質問票を用いて調査した帯状疱疹に伴うかゆみは、発症早期から慢性期にかけてあらゆる時期に出現することが明らかになりました。詳細は、2015年度の日本疼痛学会で発表しており、現在論文を作成中です。

(石川理恵 井関雅子 稲田英一)

- ◇ 研究2:当科を受診した帯状疱疹後神経痛患者のm-RNAからPHIと痛みの後天性遺伝子修飾などの関連性、PHIと患者を様々な背景との関連性についても、探索します。さらに、痒みの基礎研究から得られた結果を、PHI患者への痒み治療へ繋げるような、トランスレーショナルリサーチを推進予定です。

(保利直介 玉川隆生 井関雅子 成田年 稲田英一)